

平成24年2月期 売上客数前年比-確報-

◆靴部門		3月	4月	5月	第1四半期	6月	7月	8月	第2四半期	上期	
既存店	売上	-17.3	4.1	2.4	-3.6	1.9	5.4		3.6	-0.8	
	客数	-19.6	1.5	0.9	-5.5	0.6	5.3		2.9	-2.2	
	客単価	2.8	2.5	1.5	2.0	1.2	0.1		0.6	1.3	
全店	売上	-18.5	2.1	1.2	-5.0	0.5	3.9		2.1	-2.3	
	客数	-20.8	-0.6	-0.5	-7.1	-0.8	3.6		1.4	-3.8	
	客単価	2.9	2.7	1.6	2.2	1.3	0.2		0.7	1.5	
		9月	10月	11月	第3四半期	12月	1月	2月	第4四半期	下期	通期
既存店	売上										-0.8
	客数										-2.2
	客単価										1.3
全店	売上										-2.3
	客数										-3.8
	客単価										1.5
■全社		3月	4月	5月	第1四半期	6月	7月	8月	第2四半期	上期	
既存店	売上	-17.3	4.1	2.4	-3.6	1.9	5.4		3.5	-0.9	
	客数	-19.6	1.5	0.9	-5.5	0.6	5.2		2.9	-2.2	
	客単価	2.8	2.5	1.5	2.0	1.2	0.1		0.6	1.3	
全店	売上	-18.6	1.8	0.9	-5.2	0.3	3.7		1.9	-2.5	
	客数	-20.9	-0.8	-0.7	-7.3	-1.0	3.4		1.2	-3.9	
	客単価	2.9	2.6	1.6	2.1	1.2	0.2		0.7	1.4	
		9月	10月	11月	第3四半期	12月	1月	2月	第4四半期	下期	通期
既存店	売上										-0.9
	客数										-2.2
	客単価										1.3
全店	売上										-2.5
	客数										-3.9
	客単価										1.4

2011年7月度売上客数前年比確報

当月の全社全店売上前年比は3.6%増、全社既存店売上前年比は5.4%増だった。

靴部門の全店売上前年比は3.8%増、既存店売上前年比は5.4%増。

当月は、前年に対して日曜日が多い日が多く、前半は猛暑効果で紳士・婦人の各種サンダルが好調で、中盤以降は台風や雨の影響でラバーブーツやレインシューズが好調となり、既存店売上が押し上げた。また復興需要により、被災地を中心とした東北地区の既存店売上が、依然として二桁の伸びを持続している。

靴部門の4カ月連続の既存店売上プラスは、記録が確認できる過去14年間で初めて。

部門別には、紳士靴部門、婦人靴部門、スニーカー部門、ハッピー・サンダル部門が前年に対してプラス。

紳士靴部門は「ハイドロテック涼風爽快」および「バイオフィッター」両ブランドが活躍。婦人靴部門では「エルプラネット」や「MCマリ・クレール」のポンプスおよびレインブーツが好調、「セダー・クレスト」「バイオフィッター」のサンダルおよびカジュアルが好調に推移した。スニーカー部門では低価格帯のグローバルブランドスニーカーやサンダルが好調だったほか、トーンングシューズ「セダー・クレスト・デュオモーションズ」も引き続き堅調な販売だった。販売点数は5%程度上昇、販売単価は前年並みだった。

※既存店---13ヶ月以上稼働している店舗が対象とし、その店舗の前年同月との対比。

※月初発表の前年比数値は速報値。中旬以降、確報値を掲載いたします。

Chiyoda